

首無し地蔵

明治初期のころ物の怪が北温泉の館内を夜な夜な騒がしておりました。あまりに傍若無人な振る舞いに業を煮やした当時の館主は温泉神社境内にあるお地蔵様にお参りをし、物の怪を諫めてくれるように頼みました。

その夜、また物の怪が騒ぎ出すと、どこからともなく3人の若者が現れました。3人の若者は果敢に物の怪と戦いました。どすん、ばたん、大格闘の末ついに物の怪を館内から追い出しました。館主が御礼を言おうと近づくと3人とも忽然と姿を消してしまいました。

翌朝、館主はお地蔵様が頼みを聞いてくれたと、御礼を言い温泉神社に行きました。ところが、境内のお地蔵様は三体とも首が落ちておりました。お地蔵様は我が身を犠牲にして願いをきいて下さったのでした。館主はすぐさまお地蔵様の首を付け替え手厚く保護いたしました。このお地蔵様達は現在も館内の社にいらっしやいます。

